



# Creative Well-being Tokyo

Open Access to Culture Project

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

# だれもが 文化でつながる サマーセッション 2023

参加無料

各プログラムの  
事前申し込みは  
こちらから！



先着順

締切は各プログラム  
開始30分前まで

芸術文化による共生社会の実現に向けた"新たなコミュニケーションのあり方"を創造する、9日間。  
"誰もが楽しめる鑑賞体験"とともに楽しみください。

※各プログラムの開催時間は裏面をご確認ください。

講堂 7/29(土)～31(月)

事前  
申込

●トークセッション

ロビー階 第4公募展示室 7/29(土)～8/6(日)

事前  
申込

●レクチャー&ワークショップ ●展示 ●パフォーマンス×ラボ

アクセシビリティサポート

各種サポートに関するお問合せは  
「サマーセッション2023事務局」  
までご連絡ください。

手話通訳



日本語  
字幕



触知図



サポート  
スタッフ



会期

7月29日(土) — 8月6日(日)

会場

東京都美術館

講堂、ロビー階 第4公募展示室

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

お問合せ

サマーセッション2023事務局

080-4827-1239

平日及び会期中の土日(7/29・30、8/5・6)10:00-18:00

※会場への直接のお問合せはご遠慮ください。

サマーセッション特設サイト

[creativewell-session.jp](https://creativewell-session.jp)



芸術文化をすべてのひとへ

だれもが芸術文化を楽しめるように「行きたい」や「体験したい」を実現するプログラムや情報を発信していきます。



# だれもが文化でつながるサマーセッション2023

TALK  
session

## 講堂 7/29(土)~31(月)

事前申込

参加無料

アクセシビリティと共創をテーマに、さまざまな分野の専門家やアーティストを招き、文化施設での取組や最先端のテクノロジーの活用などについて議論します。

### トークセッション

session 1 7/29(土) 13:15-15:00

#### オープニング・主催者あいさつ

#### 「文化的『社会的処方』と共創の場」

稲庭 彩和子(国立アートリサーチセンター 主任研究員)  
中野 敦之(神奈川県民ホール 館長付 事業課)  
伊藤 達矢(東京藝術大学 特任教授)  
モデレーター:森 司(アーツカウンシル東京 事業調整課長)

session 2 7/29(土) 15:30-17:00

#### 「ろう者による表現」

根本 和徳(めとてらポ)  
西 雄也(デフアート研究者)  
モデレーター:菅野 奈津美(Re; Signing Project 代表)

7/30(日) 10:00-11:00

#### 映画上映

#### 『手でふれてみる世界』

60分/鑑賞無料

session 3 7/30(日) 11:15-12:45

#### 「ふれることから出会う世界」

岡野 晃子(『手でふれてみる世界』監督、ヴァンジ彫刻庭園美術館 副館長)  
半田 こづえ(明治学院大学 非常勤講師)  
モデレーター:茂木 一司(跡見学園女子大学 教授)

session 4 7/30(日) 13:30-15:00

#### 「来館しやすい美術館」

竹内 利夫(徳島県立近代美術館 学芸員)  
亀井 幸子(徳島県立近代美術館 主席)  
森山 純子(水戸芸術館現代美術センター 教育プログラムコーディネーター)  
モデレーター:大内 郁(東京都渋谷公園通りギャラリー 文化共生課長)

session 5 7/30(日) 15:30-17:00

#### 「劇場・ホールにおける共創的体験」

近藤 良平(彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督)  
梶 奈生子(東京文化会館 事業企画課長)  
モデレーター:中村 美亜(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)

session 6 7/31(月) 10:00-11:30

#### 「デフリンピックに向けて」

大杉 豊(筑波技術大学 教授)  
清水 言一(喜多能楽堂 館長)  
モデレーター:江副 悟史(俳優)

session 7 7/31(月) 12:30-14:00

#### 「情報保障とテクノロジー」

中野 夏海(日本科学未来館 科学コミュニケーター)  
設楽 明寿(筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科)  
モデレーター:阿部 一直(東京工芸大学 教授)

session 8 7/31(月) 14:30-16:00

#### 「共創するとは何か~文化的実践を通して~」

西尾 美也(東京藝術大学 准教授)  
伊藤 亜紗(東京工業大学 教授)  
モデレーター:森 司(アーツカウンシル東京 事業調整課長)

Program

## ロビー階 第4公募展示室 7/29(土)~8/6(日)

参加無料

トークセッションでの知見をより深める、体験と学びの場です。

### レクチャー & ワークショップ 事前申込

アクセシビリティの向上や共生社会の実現に向けて、今日の社会に必要な情報保障や多様な他者とのコミュニケーションの形をともに考え、体験する場として、レクチャーやワークショップを6つのテーマで実施します。\*各テーマの詳細はサマーセッション特設サイトをご覧ください。

テーマ 1 8/1(火) 13:30-15:30 視覚身体言語とコミュニケーション

テーマ 2 8/2(水) 13:30-15:30 やさしい日本語

テーマ 3 8/3(木) 13:30-15:30 触察

テーマ 4 8/4(金) 13:30-16:00 視覚障害と鑑賞プログラム

テーマ 5 8/5(土) 13:00-16:00 車いすというメディウム

テーマ 6 8/6(日) 13:30-15:30 ろう文化

### パフォーマンス × ラボ

8/1(火)~8/6(日) 10:00-16:00

芸術作品を伝えるための情報保障について考える公開研究ラボ。

ジョイス・ラムのレクチャー・パフォーマンス作品  
《家族に関する考察のトリロジー / On Family》(2021-2022/2023年)

音声や文字による情報保障を加える「めとてらポ」チームとジョイス・ラムがワークショップを行い、ジョイスのレクチャー・パフォーマンス作品《家族に関する考察のトリロジー / On Family》の伝え方を探求します。最終日(8/6)には、アクセシビリティに対応した状態でのレクチャー・パフォーマンスを上映します。

展示 9:30-17:30 (最終受付は 17:00まで)

現代美術家、ろう者等アーティストの作品展示や最先端のテクノロジーを用いた情報保障の取組を発表します。

#### ● 身体と多様性と表現

アーティスト: 檜皮 一彦  
自身も使用する車いすを用いた  
《HIWADROME》シリーズを展示。

#### ● 共創する活動

アーティスト: 西尾 美也  
ファッションブランド「NISHINARI  
YOSHIO」の店舗風景を再現する。

#### ● 情報保障とデバイス

QDレーザを体験した視覚障害  
のある方の作品などを紹介予定。

#### ● ろう者と表現

国内のろうアーティスト  
による作品展示。